

令和4年度 第4回大垣市男女共同参画推進審議会 議事録

令和4年11月7日（月）午後13時30分から、令和4年度第4回大垣市男女共同参画推進審議会を大垣市スイトピアセンター学習館4階 男女共同参画活動室において開催した。その内容は次のとおりである。

1 議 題

- (1) 大垣市第五次男女共同参画プラン（素案）について

2 委員の出欠

- (1) 出席委員（11人）

会 長	山 田 武 司	副会長	茂 木 七 香
委 員	山 村 千 華	委 員	笹 木 博
委 員	大 橋 奈麻輝	委 員	水 谷 あい子
委 員	高 見 美智子	委 員	藤 塚 茂 之
委 員	石 井 久美子	委 員	平 塚 弥 生
委 員	奥 野 理 香		

- (2) 欠席委員（4人）

委 員	大 西 豊 康	委 員	國 枝 重 一
委 員	天 野 暁 子	委 員	原 丈 衛

3 事務局出席者（4人）

市民活動部長	杉 田 昭 子
男女共同参画推進室 室長	三 浦 陽 子
男女共同参画推進室 主幹	伊 藤 元 之
男女共同参画推進室 主査	川 崎 実 紀

(開会 午後13時30分)

- | | |
|-----|--|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">※ 開会にあたって※ 欠席者(4人)の報告※ 出席委員が過半数に達したことによる会議成立の報告※ 審議会公開の報告(傍聴者なし) |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">※ 市民活動部長より挨拶(略) |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">※ 会議資料の確認 |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none">・ 本日の議事録署名者は、高見委員と平塚委員にお願いする。 |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none">※ 議題(1)<ul style="list-style-type: none">・ 「大垣市第五次男女共同参画プラン(素案)」について、事務局より説明をお願いする。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">※ 資料No.1に基づき、「大垣市第五次男女共同参画プラン(素案)」を説明(略) |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none">・ 質疑応答をお願いする。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 11ページの(1)国の状況の記載の後半に世界経済フォーラムの記載があるが、この内容について、ここに記載が必要かどうか検討をお願いしたい。日本国の状況として、この世界経済フォーラムの数値のみを記載するのは日本の状況を代表すると言い難いのではないか。12ページで「国際的水準を意識しつつ」という記載があるので、その記載で代表しているとしてよいのではないか。・ 15ページの②女性の従業上の地位別就業者数の全国・岐阜県との比較について、正規と非正規の定義が曖昧になっているように思う。一般的に正規は、雇用期間の定めがないフルタイムの勤務の方、それ以外を非正規と呼んでいる。「全国では、正規と非正規がほぼ同じ割合になっている」の記載は、表中の全国の正規の46.4%とパート・アルバイト等の46.5%がほぼ同じということを指していると思うが、非正規というと、パート・アルバイトと派遣社員を足したものになると思うので、全国でも同じ割合ではなく、非正規の方が多という認識が正しいのではないか。また、文書中の「割合は50%」という数字も見直し |

が必要ではないか。

- ・ 17ページの(3)DVに関する相談支援状況について、「相談実人員」の定義がどこかに書いてあるか、よく分からないので、説明が必要かと思う。
- ・ 同じページの(4)ひとり親世帯の状況で、母子家庭の世帯数について、平成27年と令和2年だけを比べて93世帯減少とあるが、グラフから読み取ると、最近20年ではむしろ微増の傾向にあると読み取るのが普通ではないか。

会 長

- ・ 11ページの世界経済フォーラムの記載については必要かどうか、他にご意見はないか。

事務局

- ・ ご指摘の通り次ページに記載があり、唐突なイメージというご意見のとおりと考えますので、見直しをしたいと思います。

会 長

- ・ ここは削除するということでよろしいか。

各委員

〈了 承〉

会 長

- ・ それでは、この部分については削除します。
- ・ 次に、15ページの正規、非正規に関する記載について、ご意見はありますか。

事務局

- ・ こちらの説明については、大垣市の現状のみの記載にとどめたいと思うが、いかがか。

委 員

- ・ 表に大垣市と岐阜県、全国を載せている意図は、大垣市は全国平均と比べて非正規の割合が高いという事を言いたいためだと思うので、全国を削除するのではなく、その旨を記載すればよいのではないか。

委 員

- ・ 表の書き方で、上に欄を設けて正規と非正規にわけ、その細かな内訳として非正規の欄にパート・アルバイト、派遣社員、その他の3つを記載した方が、正規と非正規がすぐに分かるのではないか。

会 長

- ・ 「その他」とはどのようなものか。
- ・ 17ページの相談実人員は、通常の相談件数とはどう違うのか。

- 事務局
- ・ 同じ方が何回も相談に来ることがあり、カウントの仕方に違いがあるため、分かるように説明を入れます。
- 会長
- ・ ひとり親世帯の状況に関してはいかがか。
- 委員
- ・ 父子家庭については、ほぼ横ばいと見てもよいが、母子家庭については、平成12年からの20年間を見ると横ばいではなく、微増と見るべきではないか。
- 委員
- ・ これは世帯数の推移だが、割合でなくてよいか。全体の世帯数が減っていたら、比べられないのではないか。
- 委員
- ・ ひとり親世帯の状況の推移を見たいのであれば、折れ線グラフではなく、棒グラフの積みグラフにした方が全体数が分かりやすいのではないか。
- 会長
- ・ ひとり親世帯が全体の世帯に対して、割合として増えているのか減っているのか、また、全体数がわかるようにグラフの書き方を変えるかの2点について、ご意見はあるか。
- 事務局
- ・ 割合が出るかは子育て支援課に確認しないと分からないが、子育て世帯が減少する中で、ご指摘いただいた通りだと考えるので、子育て支援課と相談して記載を変更したいと思う。
- 委員
- ・ 17ページについて、DVの相談件数も女性の悩み相談の件数も平成30年からの過去4年の件数が記載されているので、可能であれば、ひとり親世帯についても、平成27年から令和2年までの5年間の推移が分かると良い。令和2年は、コロナのこともあり特徴ある年で、離婚を控えるといった社会的要因もあったのではないかと思うので、過去4年の割合で、どう増減しているのかが分かると良い。
- 事務局
- ・ ひとり親の状況に関しましては、国勢調査の数字なので難しいかと思うが、ここに記載できる数字があるかどうか確認する。
- 会長
- ・ 平成27年からの数字について確認していただき、出せる数字があれば記載する、なければこのままで、ということにさせていただく。
 - ・ 委員のご意見は、グラフを変えるということによいか。

- 委員
- ・ (4)ひとり親世帯の状況について、このグラフは母子家庭と父子家庭を分けた折れ線グラフのため総数が分からないので、積みグラフにした方が総数が視覚的に分かりやすいのではないかと。
- 事務局
- ・ 割合を示したほうがよいか、グラフを2つ入れるほうがよいかなどを検討し、ここの部分の説明については全体的に見直したい。
- 会長
- ・ 全体数の折れ線グラフを追加し、3つのグラフにするのも良いかと思う。
- 委員
- ・ 分母の世帯数に対して、ひとり親世帯が実際に増えているのかどうかを折れ線グラフで示し、ひとり親世帯の実数は積みグラフにするのはどうか。そうすれば、全体として、大垣市内のひとり親世帯が増えているのか減っているのか、併せて、父子家庭・母子家庭の両方の状況が見えてくるのではないかと。
- 会長
- ・ グラフの書き方をどう書くと分かりやすいのか、事務局で検討し、提示するという事でよいか。
- 各委員
- 〈了 承〉
- 委員
- ・ 第3章について、各基本目標にSDGsのマークを入れていただいているのは分かりやすく、世の中のトレンドにも配慮しておりとても良い。
- 委員
- ・ 次の計画に向けての意見ですが、目標数値について、4つの基本目標に対して、どういう状態になったら達成できたと言えるかを見据えて、目標数値を立てた方が良いと思うので、次の5年後に向け、次のアンケートの取り方も含めて目標数値を考えていくべきである。
- 会長
- ・ 確かにそのとおりである。どういう状態になったら達成と言えるのか、1回のプランの計画期間で達成できるとは限らない。全体としてどういった状態が達成であるか、評価をしながら考えていくことが必要である。そのためには、毎年の評価が大事である。どれだけ目標値に近づいてきているのか、なかなか達成できない場合はどういった問題があるのかも含めて考えていかないといけないので、今後とも協力をお願いする。

- 事務局
- ・ 15ページの「その他」は契約社員や嘱託職員などである。
- 会長
- ・ 「その他」は、非正規の一つということですので、分かりやすく、表は大きな項目で正規、非正規とわけ、非正規には、パート・アルバイト、派遣社員、その他を入れるということで修正をお願いします。
- 委員
- ・ そうすると、15ページの表で、そんなに全国と大垣市で数字に差があるのかというところが気になる。正規社員は、大垣市が43.6%、岐阜県が42.5%、全国が46.4%で、数パーセントの違いなので、「全国ではほぼ同じであるが、大垣市と岐阜県では非正規の割合が高くなっている」という記載はどうか。
- 会長
- ・ 割合をどう考えるかであるが。
- 委員
- ・ 個人的な意見であるが、ここの3%前後の差は大きいので、有意差ありと考えます。やはり、全国平均から見て大垣市の労働状況は少し悪いという認識をすべきではないか。
- 会長
- ・ 「あり」と書くのか「ほとんど変わらない」と書くのか、表現の仕方で読む方の認識が変わると思う。
- 委員
- ・ 大垣市の非正規の割合が全国と比較すると高いというところで、捉え方を変えると恵まれているというか、女性の働き方が多様であるという意味でも捉えられるのではないか。どちらが良いというわけではないが、あくまでも非正規が悪いという事はちょっと違うと思った。
- 会長
- ・ 前回の会議でも、正規がいいのか悪いのかという議論があったが、これによって何を伝えたいのか、多様な働き方があるのではないかと伝えることもできる。もう一方では、非正規が多いことによって、はっきりとは言えないが、もしかすると、母子家庭等の貧困の問題が生まれるのではないか。全体の数だけだと伝えにくいところがあるが、夫婦や単身、ひとり親などそれぞれ分けて細かい数字を出すことが難しいので、純粹に正規と非正規の数を出すしかないのではないか。
- 事務局
- ・ 統計的データは取れないですし、ここでは、あくまで正規がいいとか、非正規がいいという評価をしているのではなく、正

規・非正規の状況を述べるにとどめたい。

会 長 ・ ここでは、純粹に正規、非正規の割合を紹介することになる。その上で、どのように数値を表現するのかということになる。

委 員 ・ 今の書きぶりでは、「非正規の割合が高くなっています」という表現だけだと意図を感じてしまうので、「何%高くなっています」と事実だけを書く表現にすれば素直に読めるのではないかと思う。

会 長 ・ 数値を出すことによって、僅かな差であることが認識できる、あるいは数値が実際に高いことがわかるが、いかがか。

各委員 〈了 承〉

会 長 ・ それでは、「何%高い」という書き方でお願いします。

委 員 ・ ②は女性の従業上の地位別の数字であるが、割合を紹介するだけにとどめるのであれば、女性だけではなく、男性もあつた方がいいのかなと思う。

会 長 ・ 男性もあると比較もしやすいが、数値を出すことは可能か。

事務局 ・ 男性の数字を出すことは可能です。

会 長 ・ では、男性の表も付け加えるということをお願いします。
・ 他にはよろしいか。

各委員 〈意見・質問等なし〉

会 長 ・ いくつか修正点を出していただいたが、修正についてはどのようにするか。

事務局 ・ ひとり親世帯の部分と女性の従業上の地位の部分については、全面的に書き直し、皆さんに修正案をお示しする。

会 長 ・ 修正案に関しては、事務局と私の方でとりまとめ、当審議会の答申とさせていただくことでよろしいか。

- | | |
|-----|---|
| 各委員 | 〈意義なし〉 |
| 会 長 | ・ 今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | ※ 今後のスケジュールについて説明 |
| 会 長 | ・ これで議事を終了し、議長の職を降りさせていただく。 |
| 事務局 | ※ 市民活動部長より挨拶（略） |
| 事務局 | ・ 長時間にわたる審議ありがとうございました。
・ 以上で、令和4年度 第4回「大垣市男女共同参画推進審議会」
を閉会させていただく。 |

（閉会 午後14時45分）

以上、会議の次第を記載し、その相違ないことを証明するため、ここに署名する。

委 員

委 員